

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開  
⑪ 公開特許公報 (A) 平1-145961

⑫ Int. Cl.	⑬ 識別記号	⑭ 庁内整理番号	⑮ 公開	⑯ 平成1年(1989)6月7日
B 65 H	11/00	K-7456-3F		
B 41 J	15/00	8703-2C		
	15/04	8703-2C		
	17/18	8703-2C		
B 65 H	17/02	A-7716-3F		
	3/44	F-7407-3F		
		G-7407-3F		
	5/26	7533-3F		
	11/00	J-7458-3F		
H 04 N	1/00	L-7334-5C		
		審査請求 未請求 発明の数 1 (全15頁)		

⑰ 発明の名称 記録装置

⑱ 特 願 昭62-30839

⑲ 出 願 昭62(1987)12月1日

⑳ 発 明 者 中 村 光 孝 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内  
㉑ 出 願 人 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号  
㉒ 代 理 人 弁理士 川久保 新一

明 細 書

1. 発明の名称  
記録装置

2. 特許請求の範囲

(1) 記録シートを記録部に搬送して記録部において面像を記録する記録装置において、前記記録装置の内部に収容した第1の記録シートを搬送する第1搬送手段と、前記記録装置の外から第2の記録シートを搬送する第2搬送手段と、前記第2の記録シートを搬送する第2搬送手段とを有することを特徴とする記録装置。

3. 発明の概要を説明  
[産業上の利用分野]  
本発明は、フロッピー装置、フロッピー装置等に使用される記録装置に関する。  
[従来の技術]  
第1の図に、シートローンを2枚収納するいわゆるダブルローラの記録装置の従来例を示してある。

この従来例においては、たとえばB4とA4というように、2種類のローラ状の記録シートを使用することができ、  
[発明が解決しようとする問題点]  
しかし、上記従来装置においては、所定の2種類の記録シートを装填すると、その装填された記録シート以外の記録シートに記録することができず、装填されていない記録シートに記録するに、既に装填してある記録シートを外し新たな記録シートを装填しなければならず、その交換作業が煩雑であるという問題がある。

また、上記従来装置には、ローラ状の記録シート以外の記録シートに記録することができないという問題がある。つまり、使用目的に応じて記録方式を選択することができないという問題がある。

[問題点を解決するための手段]

本発明は、記録装置の内部に装填した第1の記録シートを搬送する第1搬送手段と、上記記録装置の外から第2の記録シートを搬送する第2搬送手段とを設けたので、選択されていない記録シートに記録する操作が容易であり、ローラ状の記録シート以外の記録シートに記録できる。

[作用]

本発明は、記録装置の内部に装填した第1の記録シートを搬送する第1搬送手段と、上記記録装置の外から第2の記録シートを搬送する第2搬送手段とを設けたので、選択されていない記録シートに記録する操作が容易であり、ローラ状の記録シート以外の記録シートに記録できる。

[実施例]

第1図は、本発明の記録装置の内部に装填した第1の記録シートを搬送する第1搬送手段と、上記記録装置の外から第2の記録シートを搬送する第2搬送手段とを設けたので、選択されていない記録シートに記録する操作が容易であり、ローラ状の記録シート以外の記録シートに記録できる。

3

第1の図に、記録装置の内部に装填した第1の記録シートを搬送する第1搬送手段と、上記記録装置の外から第2の記録シートを搬送する第2搬送手段とを設けたので、選択されていない記録シートに記録する操作が容易であり、ローラ状の記録シート以外の記録シートに記録できる。

第1の図に、記録装置の内部に装填した第1の記録シートを搬送する第1搬送手段と、上記記録装置の外から第2の記録シートを搬送する第2搬送手段とを設けたので、選択されていない記録シートに記録する操作が容易であり、ローラ状の記録シート以外の記録シートに記録できる。

第1の図に、記録装置の内部に装填した第1の記録シートを搬送する第1搬送手段と、上記記録装置の外から第2の記録シートを搬送する第2搬送手段とを設けたので、選択されていない記録シートに記録する操作が容易であり、ローラ状の記録シート以外の記録シートに記録できる。

5

特開平 1-145961(2)

図である。第2図は、上記記録装置の内部に装填した第1の記録シートを搬送する第1搬送手段と、上記記録装置の外から第2の記録シートを搬送する第2搬送手段とを設けたので、選択されていない記録シートに記録する操作が容易であり、ローラ状の記録シート以外の記録シートに記録できる。

第1の図に、記録装置の内部に装填した第1の記録シートを搬送する第1搬送手段と、上記記録装置の外から第2の記録シートを搬送する第2搬送手段とを設けたので、選択されていない記録シートに記録する操作が容易であり、ローラ状の記録シート以外の記録シートに記録できる。

4

第1の図に、記録装置の内部に装填した第1の記録シートを搬送する第1搬送手段と、上記記録装置の外から第2の記録シートを搬送する第2搬送手段とを設けたので、選択されていない記録シートに記録する操作が容易であり、ローラ状の記録シート以外の記録シートに記録できる。

第1の図に、記録装置の内部に装填した第1の記録シートを搬送する第1搬送手段と、上記記録装置の外から第2の記録シートを搬送する第2搬送手段とを設けたので、選択されていない記録シートに記録する操作が容易であり、ローラ状の記録シート以外の記録シートに記録できる。

6

円を付し、分周ロータ18cによって1枚ずつ分離されるとき、搬送ロータ18dによって定位置に搬送され、排出ロータ18eによって排出されるように搬送され、また、図6が搬送されている間に、図8に示すセンサ20によって位置を検出し、その位置が所定の位置系に達するように搬送されている。

第2カバールは、円形ロータ14と、センサ15と、円形ロータ11と、予備搬送ロータ9における他方のロータとを有する。

インクロータ17を有する場合、第5図に示すように、カバールのみを回転した状態で、図中、矢印方向に移動させて搬送を行なう。このようにすることによって、図8ロータ14をセッしたまま、インクロータ17を有する。

次に、図9から示入する第2図のロータのカセリ化について説明する。

第7図は、ロータに巻き回したロータ

7

を有することなく、第2図のロータである図8に示すように、カバールのみを回転した状態で、図中、矢印方向に移動させて搬送を行なう。このようにすることによって、図8ロータ14をセッしたまま、インクロータ17を有する。

次に、図9から示入する第2図のロータのカセリ化について説明する。

第10図は、上記実施例を有する図8のロータのカセリ化について説明する。

この実施例は、搬送全体を制御するCPU50と、搬送制御するMCU51と、搬送制御するモータ52と、第2図のロータ14と、モータ52を制御するモータ制御部54と、第11図～第13図に示すプログラムを格納してあるROM55と、作業用として使用するRAM56とを有する。CPU50は、搬送外から搬入する第2図のロータの位置に応じて搬送ロータを切換える制御

9

を有する図8のロータと指定した時刻のカセリの一例を示す図である。第8図は、搬送全体を制御するMCU51と、搬送制御するモータ52と、第2図のロータ14と、モータ52を制御するモータ制御部54と、第11図～第13図に示すプログラムを格納してあるROM55と、作業用として使用するRAM56とを有する。CPU50は、搬送外から搬入する第2図のロータの位置に応じて搬送ロータを切換える制御

を有する図8のロータと指定した時刻のカセリの一例を示す図である。第8図は、搬送全体を制御するMCU51と、搬送制御するモータ52と、第2図のロータ14と、モータ52を制御するモータ制御部54と、第11図～第13図に示すプログラムを格納してあるROM55と、作業用として使用するRAM56とを有する。CPU50は、搬送外から搬入する第2図のロータの位置に応じて搬送ロータを切換える制御

を有する図8のロータと指定した時刻のカセリの一例を示す図である。第8図は、搬送全体を制御するMCU51と、搬送制御するモータ52と、第2図のロータ14と、モータ52を制御するモータ制御部54と、第11図～第13図に示すプログラムを格納してあるROM55と、作業用として使用するRAM56とを有する。CPU50は、搬送外から搬入する第2図のロータの位置に応じて搬送ロータを切換える制御

を有する図8のロータと指定した時刻のカセリの一例を示す図である。第8図は、搬送全体を制御するMCU51と、搬送制御するモータ52と、第2図のロータ14と、モータ52を制御するモータ制御部54と、第11図～第13図に示すプログラムを格納してあるROM55と、作業用として使用するRAM56とを有する。CPU50は、搬送外から搬入する第2図のロータの位置に応じて搬送ロータを切換える制御

を有する図8のロータと指定した時刻のカセリの一例を示す図である。第8図は、搬送全体を制御するMCU51と、搬送制御するモータ52と、第2図のロータ14と、モータ52を制御するモータ制御部54と、第11図～第13図に示すプログラムを格納してあるROM55と、作業用として使用するRAM56とを有する。CPU50は、搬送外から搬入する第2図のロータの位置に応じて搬送ロータを切換える制御

8

手段の一例である。

また、動作制御部61は、1/062と、制御部63と、円形ロータ14と、モータ52を制御するモータ制御部54と、第11図～第13図に示すプログラムを格納してあるROM55と、作業用として使用するRAM56とを有する。CPU50は、搬送外から搬入する第2図のロータの位置に応じて搬送ロータを切換える制御

を有する図8のロータと指定した時刻のカセリの一例を示す図である。第8図は、搬送全体を制御するMCU51と、搬送制御するモータ52と、第2図のロータ14と、モータ52を制御するモータ制御部54と、第11図～第13図に示すプログラムを格納してあるROM55と、作業用として使用するRAM56とを有する。CPU50は、搬送外から搬入する第2図のロータの位置に応じて搬送ロータを切換える制御

を有する図8のロータと指定した時刻のカセリの一例を示す図である。第8図は、搬送全体を制御するMCU51と、搬送制御するモータ52と、第2図のロータ14と、モータ52を制御するモータ制御部54と、第11図～第13図に示すプログラムを格納してあるROM55と、作業用として使用するRAM56とを有する。CPU50は、搬送外から搬入する第2図のロータの位置に応じて搬送ロータを切換える制御

を有する図8のロータと指定した時刻のカセリの一例を示す図である。第8図は、搬送全体を制御するMCU51と、搬送制御するモータ52と、第2図のロータ14と、モータ52を制御するモータ制御部54と、第11図～第13図に示すプログラムを格納してあるROM55と、作業用として使用するRAM56とを有する。CPU50は、搬送外から搬入する第2図のロータの位置に応じて搬送ロータを切換える制御

10

送ロータ8aを有するものであり、モータ8aは、図示しない駆動手段によって、それぞれ、第2図のロータ8a、円形ロータ11、12、カセリ、搬送ロータ10、インクロータ17a、予備搬送ロータ9に駆動力を伝えるものである。

次に、上記実施例の動作について説明する。

第11図は、上記実施例において、図8ロータ14をセッする動作を示すフローチャートである。

まず、図8ロータ14をセッする場合、カバール停止解除センサ28a、28bを動作して、フラグ3a、3bの停止を解除し、第4図に示すように、カバールA、Bを回転し(31)、本体Cの図8ロータ14を有する図8ロータ14aを有する図8ロータ14をセッする動作を示すフローチャートである。

そして、カバールA、Bを閉じ、図8ロータ14aをセッする動作を示すフローチャートである。

11

予備搬送ロータ9を有する。

まず、第2図のロータ14を搬送外から搬入させ(510)、図8ロータ14aを有する図8ロータ14aをセッする動作を示すフローチャートである。

円形ロータ14を有する図8ロータ14aを有する図8ロータ14aをセッする動作を示すフローチャートである。

図8ロータ14aを有する図8ロータ14aをセッする動作を示すフローチャートである。

13

に閉じられていることをカバールセンサ40a、40bが検出すると(53、54)、自動的にロータ14aを有する図8ロータ14aをセッする動作を示すフローチャートである。

この動作を行なう場合、まず円形ロータ11、予備搬送ロータ9、第2図のロータ8a、搬送ロータ10を第2図に示す矢印方向に回転させ、図8ロータ14aを有する図8ロータ14aをセッする動作を示すフローチャートである。

次に、搬送外から第2図のロータ14aが搬入した場合の動作について説明する。

第12図は、上記実施例において、搬送外から第2図のロータ14aが搬入する場合の動作を示すフローチャートである。

12

14の他に予備搬送ロータ9、第2図のロータ8a、搬送ロータ10を第2図に示す矢印方向に回転させ、図8ロータ14aを有する図8ロータ14aをセッする動作を示すフローチャートである。

図8ロータ14aを有する図8ロータ14aをセッする動作を示すフローチャートである。

図8ロータ14aを有する図8ロータ14aをセッする動作を示すフローチャートである。

14



完全に独立して開閉可能になり、インダクシーローム 17 a、記録シート 4 a のそれぞれを独立して交換することができる。

#### 【発明の効果】

本発明によれば、整備されていない記録シートに記録する操作が容易であり、ロール状の記録シート以外の記録シートに記録できるという効果を有する。

#### 4. 図面の簡単な説明

第 1 図は、本発明の一実施例を示す斜視図である。

第 2 図は、第 1 図の正面図である。

第 3 図は、上記実施例において、第 1、第 2 のカバーを開放した状態における側面図である。

第 4 図は、第 3 図の正面図である。

第 5 図は、上記実施例において、第 1 カバーのみを開放した状態の正面図である。

第 6 図は、上記実施例において、外部から第 2 の記録シートを平置してよって投入させた場合の

説明図である。

第 7 図は、上記実施例において第 2 の記録シートとしてロール状に巻回した記録シートを規定した場合のカセットの一例を示す図である。

第 8 図は、上記実施例において、装置本体に第 2 ロールカセット D を配設した状態を示す斜視図である。

第 9 図は、第 8 図の正面図である。

第 10 図は、上記実施例を駆動する制御部のブロック図である。

第 11 図、第 12 図、第 13 図 (1)、(2)、(3)、(4) は、上記実施例において、記録シートのセリから記録動作までを示すフローチャートである。

第 14 図、第 15 図は、本発明の他の実施例の説明図である。

第 16 図は、変形例の説明図である。

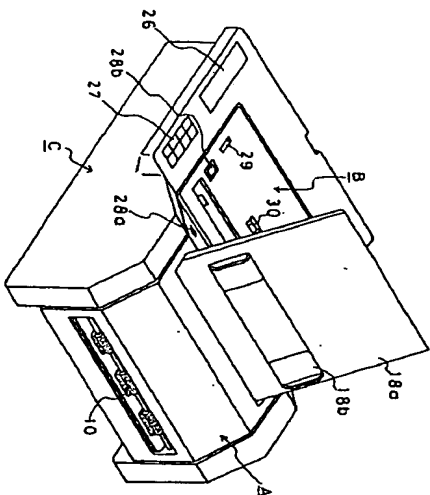
A、B…カバー、

C…本体、

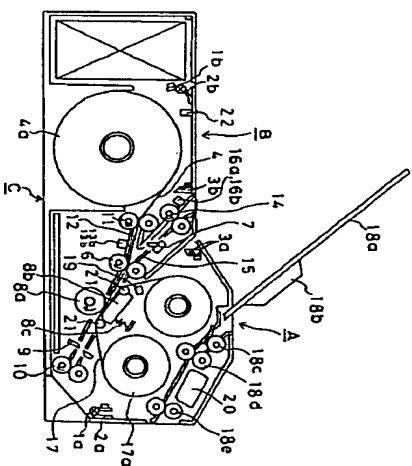
2 3

2 4

第 1 図

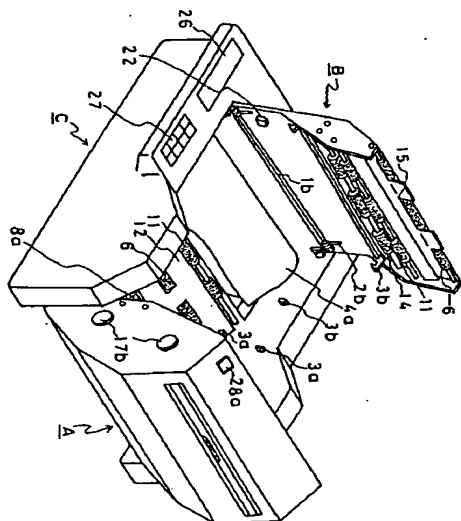


第 2 図

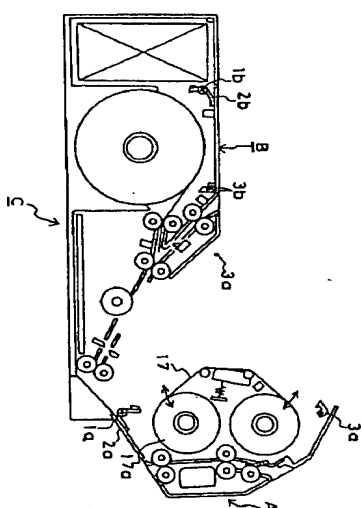


2 5

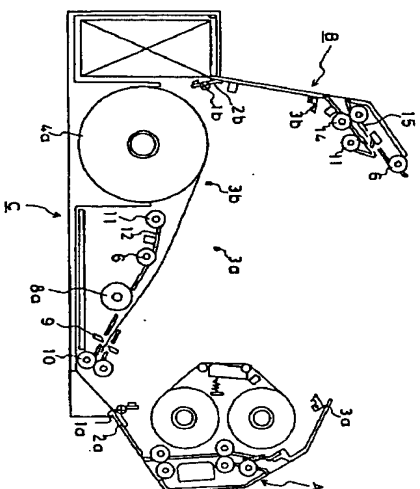
### 第3図



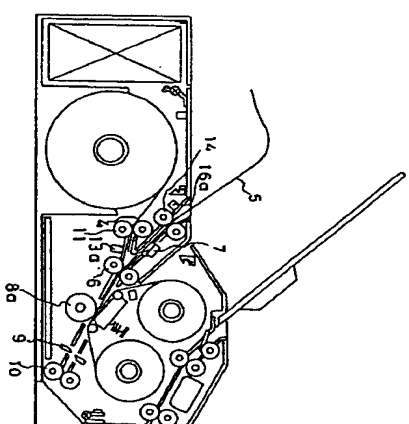
## 第5回



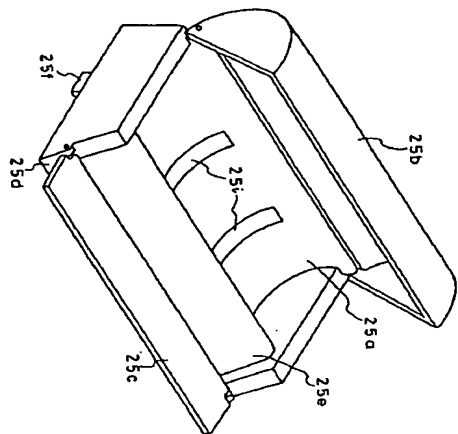
#### 第4図



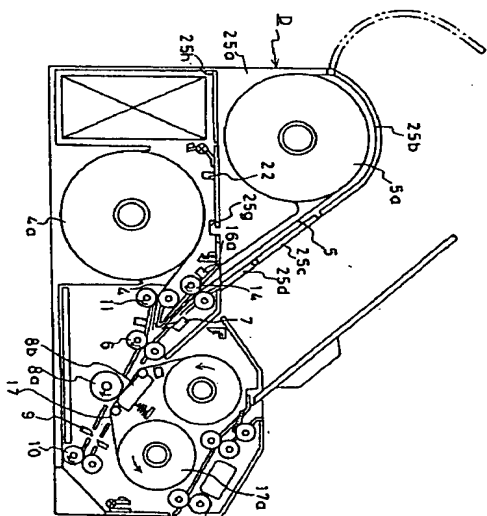
第6図



第7図



第9図



第8図

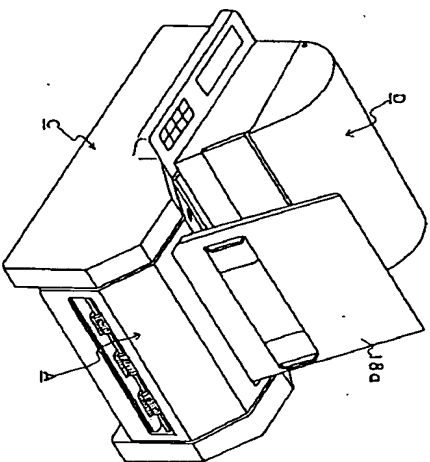
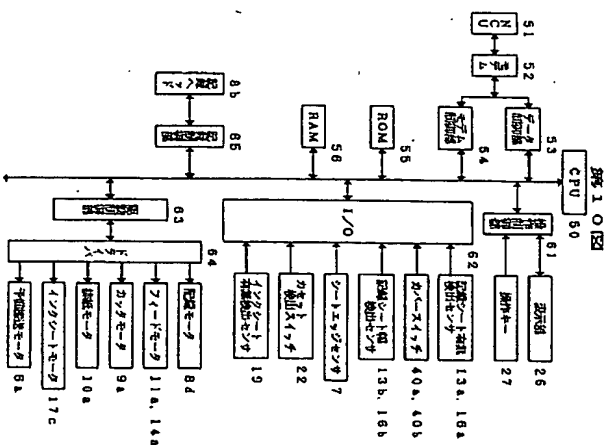
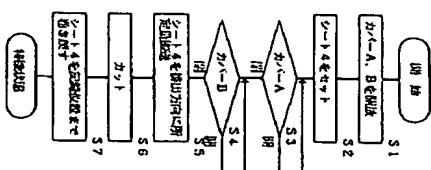


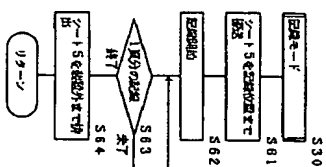
図 1 の図



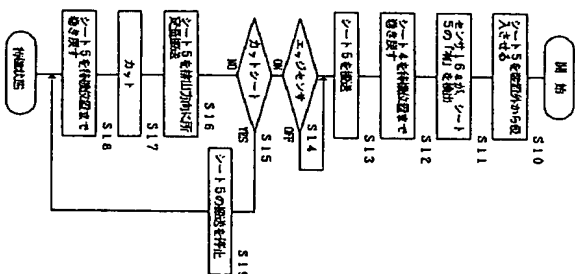
Ms. A. 1. 123



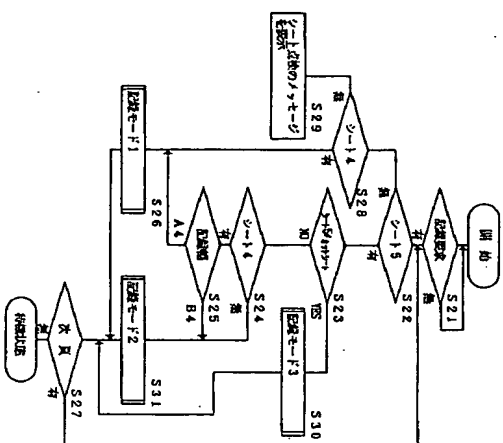
第 13 圖 (2)



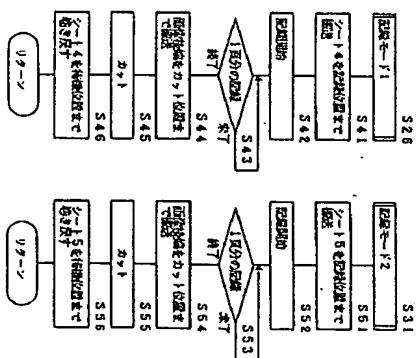
**12**



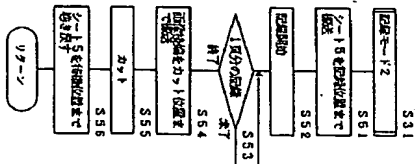
第 1.3 版 (1)



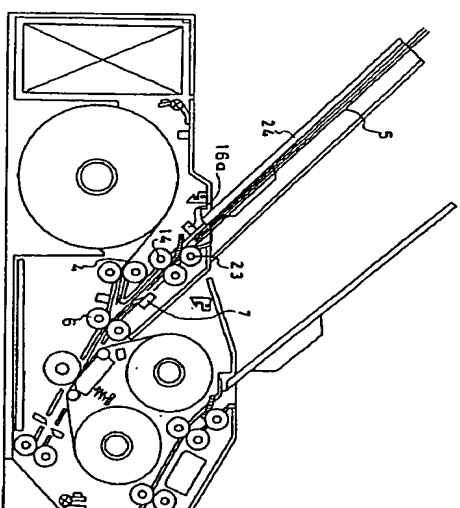
第 13 图 (3)



第 13 圖 (4)

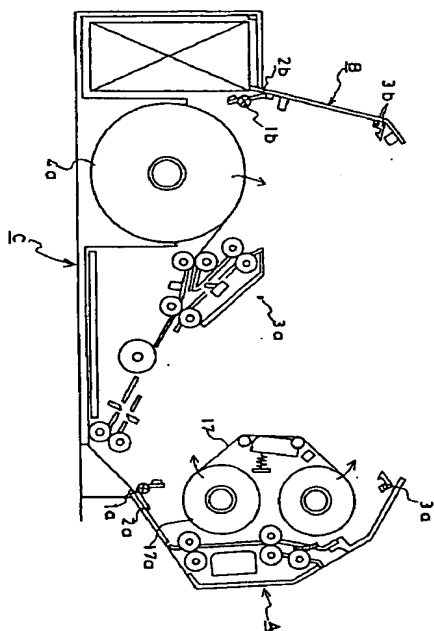


第14圖





第15圖



第16圖

